

令和3年度第3回宇都宮市民大学運営協議会 会議録

1 開催日時 令和3年11月22日(月) 午後3時30分から

2 開催場所 教育委員室(市役所13階)

3 出席委員

島田 繁雄 会長 丸山 純一 副会長 江田 壮一 委員
大山 眞一 委員 川島 育郎 委員 待山 妙子 委員

(以上6名)

4 欠席委員

赤羽 幸雄 委員 阿部 ゆり 委員 柴田 慎司 委員
野中 正知 委員

(以上4名)

5 出席職員

生涯学習課長 秋山 黎明
生涯学習課長補佐 今井 宏行
家庭教育・地域人材グループ係長 藤田 直樹
家庭教育・地域人材グループ総括 泉 志帆
家庭教育・地域人材グループ専任 高田 正枝
家庭教育・地域人材グループ主事 篠崎 さくら
家庭教育・地域人材グループ主事 児矢野 はるひ

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者の数 0人

8 議題

- ・ 令和3年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について
- ・ 令和3年度宇都宮市民大学公開講座について
- ・ 令和4年度宇都宮市民大学Vスタッフ企画講座の決定について

9 議事の経過

(1) 令和3年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

- | | |
|------|--|
| 島田会長 | コロナ禍で延期から延期、さらに短縮となり、事務局等は大変お疲れ様であった。委員の皆さまから意見・質問を伺いたいがいかがか。 |
| 大山委員 | 自分が企画した「鬼先生」の講座に関して、4回の開催となり物足りなく感じたが、自分の感覚では回数が少ない分、締まりのある講座となった。8回となると、受講者もだれてきて欠席する人も現れることが過去にあった。講座回数として6回から8回であるが、6回だと無理だと思い、断るケースが過去にあった。今後の講座では、コンパクトで締まりのある講座として5回開催も良いのではないか。検討してほしい。 |
| 島田会長 | 今後、講師の都合で8回は無理でも、5・6回なら受けようかなと思う人もいると思う。 |
| 細川委員 | 今日が会議に初参加である。自分は今回後期専門講座の「チョコちゃんに叱られる！」で知られる鬼先生の講座を受講したが、好奇心に関する内容で、日常に興味湧いた。入り口から興味が湧き、日常に好奇心を持つようになり、自分で調べることや、人に聞いて交流することが必要だと感じた。知り合いは千と千尋の回を期待していたが中止になってしまい残念だった。鬼先生自身も色々なことに興味を持つ方だった。 |
| 大山委員 | 今後、今回できなかった残りの講座を「続編」としてやれないかと講師と相談している。 |
| 島田会長 | それでは、令和3年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況については、報告案件であるので、以上とする。 |

(2) 令和3年度宇都宮市民大学公開講座について

- | | |
|------|--|
| 島田会長 | 公開講座の実施にあたっては集客が課題のひとつである。メディア・アーツ専門学校では、栃木放送で、毎週水曜に学生による「9時までよろしいでしょうか」という番組を放送している。その中で市民の方に宣伝できると思うので、チラシが出来上がったら送ってほしい。また、こうした時期に250人を集めるのは難しい。宇都宮市内 |
|------|--|

	<p>の高校などに配布し、今回のテーマである「宇宙」に興味関心を持たせることで、受講者増加につながるのではないかと。</p> <p>委員の皆さまから意見・質問を伺いたいが、いかがか。</p>
大山委員	<p>宇都宮市内の高校のほか、小山高専などの工業関係にも配布しても良いのではないかと。</p>
事務局	<p>受講料に関して、19歳以下は無料とあるが、なぜ19歳としたのか。法改正で成人が18歳になった今、大人に対して無料になってしまうこともあり得るのではないかと。</p> <p>市民大学では、社会的な観点から、男女の確認や具体的な年齢を聞くことはない。現在、受講申し込み時に、年代を伺っていることから、年齢ではなく年代で区分を分けるため、19歳以下とした。大学等で配布した時、無料の人と無料ではない人で分かれてしまうが、市民大学の年代で受け入れということで、この方法でいきたい。</p>
島田会長 (一同)	<p>令和3年度 宇都宮市民大公開講座について、承認いただけるか。 (異議なしの声)</p>

(3) 令和4年度宇都宮市民大学Vスタッフ企画講座の決定について

島田会長	<p>選考委員会の委員長である丸山副会長から補足があればお願いしたい。</p>
丸山副会長	<p>今回の選考委員会では13企画あり、講座のバリエーションがあり、意欲的な講座が多かった。例えば「今を読み解く現代社会」などでは企画が出にくかったが、デジタル化や理系のものなども積極的に取り上げてもらった。選考に関しては、点数を見てスムーズに決定した。前期後期や曜日も柔軟な講座が多かった。</p> <p>直接選考とは関係ないが、フリーディスカッションの際に、企画者が固定しているのが問題点として挙げられた。選考委員会の見学者もいたが、コロナで新しい人が入ってきにくい状況である。色々な視点で企画をしてほしいと思う。</p> <p>また、受講者・企画者が高齢の方が多いのも指摘があった。今後は子育て世代などをターゲットにしても良いのではないかと。</p> <p>選考委員も全員が男性であったため、バリエーションを考慮しても良いのではないかと。</p>
川島委員	<p>企画者の固定について、現段階で企画者は全部でどのくらいいるの</p>

事務局	<p>か。</p> <p>企画者となるVスタッフは現在66名登録しているが、現在市民大学で活動している方は半分の30名程度である。昨年のVスタッフ養成講座を修了し、新たにVスタッフになった方達も、今回の市民大学講座企画・運営選考委員会に企画提案ができるよう予定をしていたが、募集期間が一月程度となることから、時間がない中での連続講座の企画は難しく断念したようだ。</p> <p>選考委員より、選考委員会でのVスタッフによるプレゼン等の準備段階において、事務局によるサポート強化が必要と指摘をいただいた。まずは、次年度実施になる企画が、より市民の方に興味関心を持っていただける講座になるよう、コロナ禍ではあるが、Vスタッフとともに知恵を出し合い準備を進めていきたい。</p>
川島委員 事務局	<p>再要望の講座はあるのか。</p> <p>資料にある「あなたの住んでいる地盤・地形は大丈夫ですか？」は4・5年前に、「渤海という国を知っていますか」は3年連続で応募があった。また別の企画者でも、「栃木の魅力 大地からの贈り物」は3年前にあった。なお、「再入門！楽しい科学」では令和2年度に実施した感触から、受講生の要望等を生かすような内容に講師とVスタッフで企画を練り応募している。さらに、「仏像の魅力を探る」は人気講座のため、講師と相談して今回も新しく企画している。</p>
江田委員	<p>「今から考える未来の世界」の委員コメントで「内容が10年ほど遅れていると感じた」とあるが、どういうことか。</p>
丸山副会長	<p>環境問題が解決していないので、現代的な問題だとは思いますが、SDGsの考え方が前と変わっているため、問題のたて方が古いのではという意見があった。公害や環境問題などは長い歴史で見れば内容自体が遅れているわけではないが、科学の方にフォーカスしていたので、昔からある題材だと感じる部分もあったのではないかと。個人的には遅れているといった印象はなかった。</p>
大山委員	<p>問題が2つあるように思う。Vスタッフ養成講座修了後に市民大学にすぐ企画提案しようとしても、レベルや質が高いので入りにくい。養成講座を修了した後、市民大学講座企画への導入が必要であると思う。渤海のように3回もチャレンジしているところもあるので、挑戦してもらいたい。</p>

もう一つは、企画者として場数を踏む中で成長しているが、前回と被らないように、方向性を探っているので、その点も加味してほしい。

島田会長 令和4年度宇都宮市民大学Vスタッフ企画講座の決定について、承認いただけるか。

(一同) (異議なしの声)

島田会長 以上で、本日の議題は、全て終了とする。